

日本国際情報学会主催「第5回安全保障セミナー」実施報告

令和元年12月14日（土）、慶応義塾大学土屋大洋教授及び国立情報学研究所高倉弘喜教授を講師として招聘し、第5回安全保障セミナーを実施したので報告いたします。

近年、我が国とり巻く安全保障環境は、益々不安定かつ不確実な情勢になってきております。特に、サイバー空間・電磁波空間・宇宙空間といった新たな領域における課題が顕在化してきております。このような安全保障上の課題を多角的な見地から研究するため、この度、「サイバー空間における安全保障」を焦点に、テーマを「新世代の安全保障」として、第5回の「安全保障シンポジウム」を企画いたしました。当初、10月12日（土）に企画しておりましたが、台風19号の関東地方直撃に鑑み12月まで延期したものです。

1 実施日時

令和元年12月14日（土） 13：30～17：40

2 場所

日本大学経済学部7号館第7043教室

3 講師

(1) 慶応義塾大学 土屋大洋 教授

演題「米中のサイバー空間の覇権争いと日本」

講師略歴：1994年慶応義塾大学法学部卒業、1996年同大学院法学研究科政治学専攻修士課程修了、1999年同大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了、2004年同大学総合政策学部助教授、政策・メディア研究科助教授（准教授）、2011年同教授を経て、本年10月、慶応義塾大学総合政策学部長に就任、現在に至る。

(2) 国立情報学研究所 高倉弘喜 教授

演題：「サイバー空間における脅威情報とレジリエンス」

講師略歴：1990年九州大学工学部卒業、1992年同大学院工学研究科修士課程修了、1995年京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了、京都大学工学部研究員、イリノイ州立大学訪問研究員、奈良先端科学技術大学院大学助手、京都大学講師・助教授（准教授）、名古屋大学教授を経て、2016年国立情報学研究所教授、2017年同サイバーセキュリティ研究開発センター長に就任、現在に至る。

4 実施の概要

13：30	開会挨拶（司会：安全保障研究部会長 佐々木孝博）
13：30～13：35	学会会長挨拶（日本国際情報学会会長 近藤大博）

- 13:35～14:45 セッション1 慶應義塾大学土屋大洋教授講話「米中のサイバー空間の覇権争いと日本」
- 14:45～14:55 休憩
- 14:55～16:05 セッション2 国立情報学研究所高倉弘喜教授講話「サイバー空間における脅威情報とレジリエンス」
- 16:05～16:15 休憩
- 16:15～17:10 セッション3 フロアとのフリーディスカッション
- 17:10～17:15 閉会（交流会・名刺交換会等ご案内（司会））
- 17:15～17:40 講師との名刺交換会・簡易懇談会（交流会非参加者優先）
- 17:45～19:45 講師との交流会

5 セミナーの様子



司会あいさつ（佐々木孝博 日本国際情報学会 安全保障部会長）



開会あいさつ（近藤大博 日本国際情報学会 会長）



セッション1 土屋大洋 慶應義塾大学教授講話



セッション2 高倉弘喜 国立情報学研究所教授講話



セッション3 フロアとのフリーディスカッション

6 成果・所見

産官学の専門家等、約60名の参加者を得て、第5回の安全保障セミナーを実施することができました。今回のセミナーは、近年、安全保障上注目されている「サイバー空間の安全保障」に関して、社会科学・国際政治学・メディア論等からの見地から慶應義塾大学の土屋教授から講話いただき、また、サイバー戦の最前線で実務にあたっている国立情報学研究所の高倉教授から情報工学等の見地からの講話をいただきました。両講師の非常に奥深い講話をトリガーとして、フロアを含めましたディスカッションでは、「東京オリンピックでのサイバー脅威の見積もり」や「マイナンバーカードのサイバーセキュリティ上の課題」、「サイバー空間におけるインテリジェンス」の話にまで討論が及び、1時間のディスカッション時間では足りないような白熱した議論が繰り広げられました。

セミナー終了後は、参加希望の先着者25名が「両講師との交流会」に臨み、オフレコでのディスカッションの続きを楽しみました。定員上、残念ながら交流会に参加できなかった方に関しましては、交流会前の約20分間、講師との名刺交換会を実施し、簡易的な意見交換会及び人脈のネットワーク構築の場も企画しました。

また、セミナー会場では、学会の入会案内も配布し、学会会員の拡大活動も実施し、すでに2名の入会希望者を得ました。

最後になりますが、本セミナーの実施に関しまして尽力いただきました、準備委員各位及び日本大学経済学部陸教授に深く感謝を申し上げます。

(安全保障研究部会長：佐々木記)